



デザイン・空間表現研究室

技能工芸学部
建設学科

大竹 由夏

Otake Yuka

■ 准教授、博士（デザイン学）

1級建築士

カラーコーディネーター2級

JCDデザイン奨励賞（2005年）

これからの建築士賞（2019年）

Key word

展示空間の設計、眺望景観、見え方、ランドマーク、メディア、情景、リニューアル

生活に潤いを！

分野 支援可能な分野

- 目的に応じた空間全体の企画・提案
- まちづくりに関する市民活動の支援・WS（ワークショップ）の企画運営

業績 研究実績・業績

- 景観計画・要綱の調査
- 都市空間におけるランドマークの見え方の調査
- メディアに表現された建造物・都市空間の調査
- 展示空間および展示ブースの制作

学会 学会・委員会

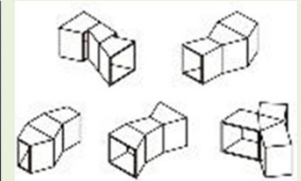
- 日本建築学会 ● 文化資源学会 ● 東京建築士会 事業委員（2019年-現在） ● 埼玉県都市収用認定審議会委員（2022-26年） ● 行田市景観計画策定委員会（2023-25年） ● 行田市景観審議会（2025-26年） ● 熊谷市バリアフリー推進業議会（2022年-現在） ● 五霞町役場庁舎複合化基本計画景観委員会（2023年-2024） ● 五霞町複合庁舎建設基本設計・実施設計業務委託公募型プロポーザル（2025年）

事例 設計・展示・WS

1 筑波大学芸専A棟2階エントランス展示空間及び展示スペース



撮影：奥村基



2 森美術館「建築の日本展」 [待庵] 原寸再現模型



撮影：御厨慎一郎 画像提供：森美術館

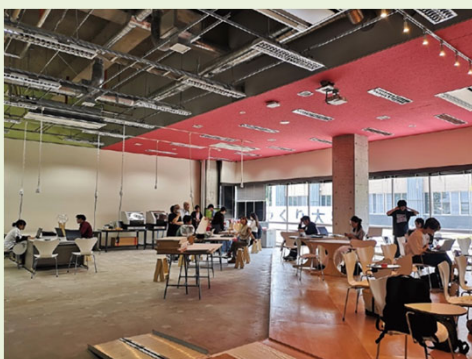
空間設計の事例と眺望景観の保全・活用に関する研究の紹介

3 フラワーフォトスポット 花飾建築



行田産のポット苗を使った「花いっぱい運動」の一環としてフラワーフォトスポットを設計制作した。

4 ものづくり大学MONOBASE



5 移住相談センターイスづくりWS



皆野町移住相談センター「みなのもち」に設置するイスをワークショップにて制作した。

調査

東京タワーの眺望景観の現状把握と保全検討

1 調査・提案

- 各自治体の景観計画・要綱における近現代建築物の眺望保全方法の調査
- 漫画に描かれた東京タワーの見え方に関する文献調査
- 認知できる東京タワーの見え方のインタビューおよびアンケート調査
- 東京タワーの可視域・認知域の現地調査
- 東京タワーの眺望保全の提案と活用

2 論文

- ワークショップを通じたものづくり教育の実践的研究—皆野町におけるイスづくりワークショップを事例として—（日本建築学会教育シンポジウム2025年）
- 現代茶室としての《待庵》原寸施工—北海道石狩市におけるものづくり教育—（日本建築学会生産シンポジウム2024年）
- ル・コルビュジエ「カップ・マルタン」の休暇小屋 原寸レプリカを用いた授業課題について その1 大学一年生を対象とした授業「建設製図Ⅱ」におけるトレース課題（日本建築学会教育シンポジウム2020年）
- 森美術館展示のための茶室《待庵》原寸再現模型制作を通してのものづくり教育（日本建築学会教育シンポジウム2019年）
- A View Preservation Proposal for the Tokyo Tower Based on its Image Drawn in Comics（Tsukuba Global Science Week, Global prospection of Art and Design researches 2016年）
- 東京タワーの周辺街路における可視域・認知域・不認知域に関する考察（日本建築学会計画系論文集2015年）

一言Message

展示空間の企画・設計によるまちづくりの支援を行います。ぜひ、お問い合わせください。